



一宮ロータリークラブ
2018-2019年度方針
会長 榊原 讓

この度、1949年、戦後日本で最初に創立された、歴史と伝統ある一宮ロータリークラブ会長に推挙され、身に余る光栄であると同時にその責任の重さを痛感いたしております。

さて2018～19年度、国際ロータリーのテーマは

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

とあります。

バハマ出身のバリー・ラシンRI会長は一番大切なのは、前向きな変化を生み出し私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ・地域社会、そして組織全体から引き出すためのインスピレーション(前進の活力・刺激……)となる必要がある。と述べられています。

また村井總一郎ガバナーの地区活動方針は

『あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！』

～ ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう ～ とあります。

当一宮ロータリークラブでは地区行動指針に基づき、入会3年未満の会員を中心に分区内交流活動を積極的に行い、工夫した例会を開催し、ポリオ撲滅に貢献する活動を行いたいと考えております。そしてロータリーの公共イメージと認識度の向上の為に会員の皆様と共に行動してゆきたいと思っております。

楽しい例会を心がけ「楽しくなくてはロータリーではない」を合言葉に、思い出に残る楽しかったといえる1年にしたいと思います。出席率を向上させ新しい仲間、友情をもっと育てゆきましよう。諸先輩方が築いてこられた偉大な歴史と伝統を継承しつつ各理事・委員長の皆様の新しい発想をも期待し、会員の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。一年間よろしくお願い致します。